

2025年 オリコン顧客満足度<sup>®</sup>調査  
＜1年に1回以上、外貨の購入・売却をしている人が回答＞  
『外貨預金』利用実態データ

**現在の利用目的「円金利が低いため」が33.4%で最多**  
**老後資金の運用先として考えている投資商品TOP3は「投資信託」「国内株式」「外貨預金」**

オリコン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：小池 恒、略称：オリコン）は、グループ会社である株式会社oricon MEが、実際のサービス利用者を対象に第三者の立場で実施した『外貨預金』満足度ランキングの調査対象者4,636人に、別途聴取し集計した利用実態データを、2025年6月2日（月）14時に発表いたしました。



### 調査設問 & TOPICS

#### ■ 外貨預金の現在の利用目的

・「円金利が低いため」が33.4%で最多 「老後の資金を蓄えるため」も上位に挙がる

#### ■ 外貨預金口座の保有総資産額（日本円換算）

・「10万円未満」が17.1%と最多

#### ■ 外貨預金の情報チェック頻度

・「ほぼ毎日」チェックする層は、“為替レート（44.8%）”のほうが“チャート（26.2%）”より高い傾向に

#### ■ 老後資金の運用先として考えている投資商品

・「投資信託（61.8%）」「国内株式（59.0%）」「外貨預金（46.4%）」がTOP3に

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合がございます。

### 《調査概要》2025年 オリコン顧客満足度<sup>®</sup>調査 外貨預金 利用実態データ

- 発表日：2025/06/02 ■ 調査主体：株式会社oricon ME ■ 調査方法：インターネット調査
- サンプル数：4,636人 ■ 調査期間：2025/01/10～2025/01/24
- 調査対象者 性別：指定なし 年齢：20～74歳 地域：全国  
条件：1年に1回以上、外貨の購入や売却をしている人

本レポートは、オリコン顧客満足度<sup>®</sup>調査『海外旅行保険』の2025年調査対象者に聴取したデータをまとめたものです。  
顧客満足度ランキングの詳細については、以下公式サイトランキングページおよびランキングリリース資料PDFをご参照いただければ幸いです。

▷ 『外貨預金』顧客満足度ランキング：<https://life.oricon.co.jp/rank-foreign-currency-deposits/>

オリコン顧客満足度<sup>®</sup>調査に関する本稿は報道用資料です。報道目的以外での掲載データおよび掲載ランキングのご使用はご遠慮ください。

【お問い合わせ先】 ml-cspr@oricon.jp TEL：03-5785-5618 オリコン顧客満足度<sup>®</sup>広報窓口

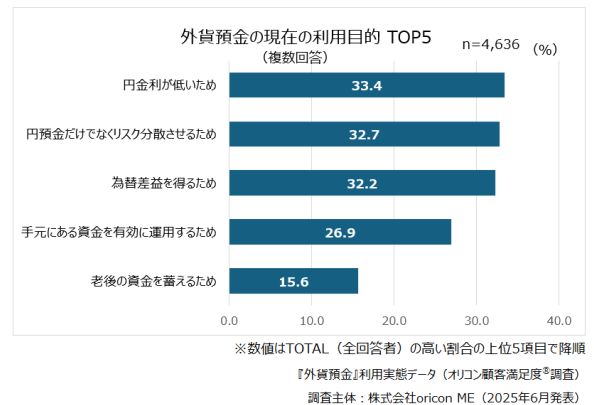
## 【外貨預金の現在の利用目的】

### ■「円金利が低いため」が33.4%で最多「老後の資金を蓄えるため」も上位に挙がる

1年に1回以上、外貨の購入・売却をしている4,636人に対し、『外貨預金の現在の利用目的（複数回答）』について聴取したところ、最多は「円金利が低いため」（33.4%）となりました。

次いで、「円預金だけでなくリスク分散させるため」（32.7%）、「為替差益を得るため」（32.2%）がづついており、いずれも将来の資産づくりを意識した目的が上位TOP3を占めました。

また、「老後の資金を蓄えるため」（15.6%）もTOP5に挙がっており、“将来に備える手段”として外貨預金を利用している層も一定数見られました。



## 【外貨預金口座の保有総資産額（日本円換算）】

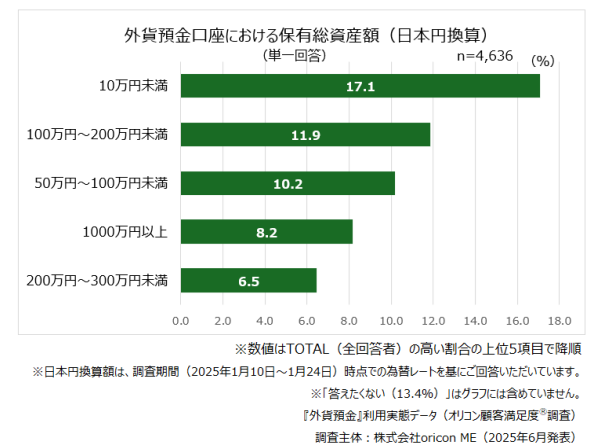
### ■「10万円未満」が17.1%と最多

『外貨預金口座における現在の総資産額※を日本円に換算するとおおよどのくらいか（単一回答）』について聴取したところ、「10万円未満」が17.1%で最多となりました。

次いで、「100万円～200万円未満」（11.9%）、「50万円～100万円未満」（10.2%）と続いており、100万円未満～200万円の中価格帯にあたる層が比較的多い傾向となっています。

これらの結果から、外貨預金を主力資産として高額で運用しているというよりも、少額から取り組んでいる層が一定数いることがうかがえます。

※日本円換算額は、調査期間（2025年1月10日～1月24日）時点での為替レートを基にご回答いただいています

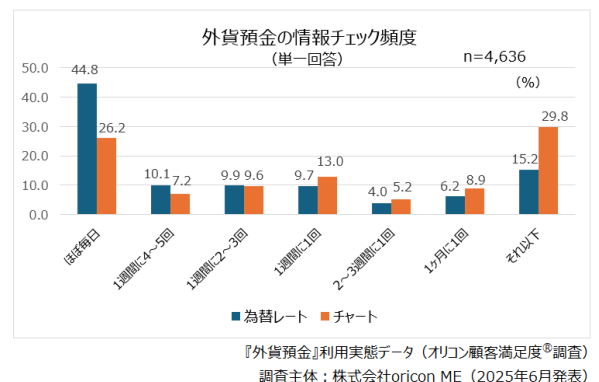


## 【外貨預金の情報チェック頻度】

### ■「ほぼ毎日」チェック “為替レート（44.8%）”のほうが“チャート（26.2%）”より高い傾向に

『外貨預金に関する情報をどのくらいの頻度でチェックしているか（単一回答）』について、為替レート（テレビ・新聞・インターネットなど）とチャート（分足・日足・週足など）のそれぞれについて聴取したところ、為替レートは「ほぼ毎日（「1日2回以上」20.8% + 「1日1回くらい」24.0%）」チェックしている人が計44.8%で最多となりました。

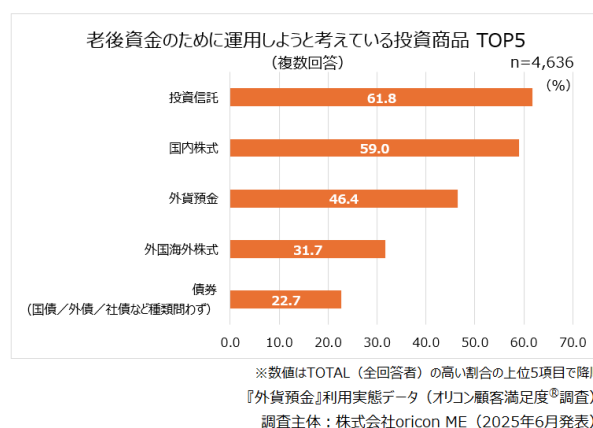
一方で、チャートは「それ以下（月1回以下）」が29.8%と最多となっており、為替レートに比べて、日々のチェック頻度は全体的に抑えめであることがうかがえます。



## 【老後資金の運用先として考えている投資商品】

■「投資信託（61.8%）」「国内株式（59.0%）」「外貨預金（46.4%）」がTOP3に

『老後の資金を蓄えるにあたり、積極的に運用しようと考えている投資商品（複数回答）』について聴取したところ、「投資信託」が61.8%、「国内株式」が59.0%で上位を占める中、「外貨預金」も46.4%と上位TOP3以内に入り、老後資金の運用先として高い関心が寄せられていることがうかがえます。そのほか、「外国海外株式」（31.7%）、「債券（国債／外債／社債など種類問わず）」（22.7%）がつづいており、運用に対する多様なニーズがあることがうかがえます。



オリコン顧客満足度®調査に関する本稿は報道用資料です。報道目的以外での掲載データおよび掲載ランキングのご使用はご遠慮ください。

【お問い合わせ先】 ml-cspr@oricon.jp TEL：03-5785-5618 オリコン顧客満足度®広報窓口